

# 鈴木あやこ

11  
November  
2016  
Vol.43

## 鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。2015年江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

### ★所属委員会(2016年度)

- 建設委員会 / 防災・まちづくり対策特別委員会
- 江東区健康スポーツ公社評議員

★マニフェスト大賞 副実行委員長 ★趣味:料理・まち歩き・水辺歩き

鈴木あやこホームページ(PC版) <http://www.suzukiayako.com>

鈴木あやこホームページ(携帯版) <http://www.suzukiayako.mymp.jp>

Facebook(鈴木綾子) <https://www.facebook.com/suzukiayako2011>

Twitter(ayako\_suzuki) [https://twitter.com/ayako\\_suzuki](https://twitter.com/ayako_suzuki)



## 活動報告 豊洲水彩まつり(9月24日)

豊洲の秋の風物詩でもある、水彩まつりが開催されました。地域の町会・自治会・商店街などによる「キャナルバー」やクルーズ、キャンドルナイトなどが盛り上がりました。私は自転車＆船のクルージングに参加し、ハッシュポテトをインターン生と一緒に手伝い。今回から町内対抗ボートレースが開催され、豊洲3丁目チームが優勝。地域の絆深まる素敵な水辺のおまつりでした。水辺から豊洲を元気に！頑張ります。



## 活動報告 マギーズ東京First Day Festival(10月2日)

豊洲市場駅近くにオープンしたマギーズ東京のFirst Day Festivalに参加。英国発祥で、日本では豊洲が初めての施設。がんの影響を受けた全ての人々が無料で訪れることができ、お茶を飲んでくつろいだり、医学的な知識のある看護師さんや心理職の方に相談したり、必要なサポートができる暖かい場所。大変暖かみのある、素敵な空間。大変素晴らしいコンセプトであり、応援していきます。



## 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、みなさまとざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。民泊や待機児童問題、湾岸エリアのまちづくり豊洲市場についてのテーマを最近では取り上げました。お気軽にお越しください！

第67回：平成28年11月25日(金) 19:00~20:30 豊洲文化センター 第3研修室(江東区豊洲2-2-18)

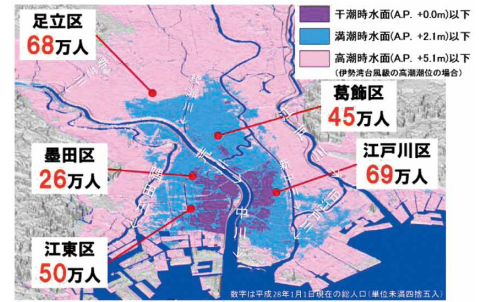


鈴木あやこの議会質問（平成 28 年 9 月）平成 28 年度予算審査特別委員会～総括質問～

強い勢力の台風が日本列島に上陸するケースが相次いでいます。東京五輪が開かれる 7 月～9 月は台風の上陸シーズンであり、競技への影響だけでなく、世界各地から集まった観光客への被害も危惧されます。また、今後大規模水害が発生した場合、従来の「垂直避難」（建物上階へ避難）から「広域避難」（区外に避難）へ、方針が見直される予定です。オリンピックに向けた水害への備えは大丈夫なのかという観点から質問を行いました。

**質問** 本区を含む江東 5 区（江東・墨田・荒川・葛飾・江戸川）は、東部低地帯に位置し、多くの河川が流れ、海抜 0m 地域が広がる地域。荒川の氾濫や高潮などが原因で、複数の堤防が同時に決壊すると、広大な洪水被害に見舞われ、最終的には江東 5 区のほぼ全域が浸水の恐れがある。浸水域の人口は 260 万人で、避難者数は 100 万人と見込まれている。

5 区が立ち上げた「江東 5 区大規模水害対策協議会」では、大規模水害が発生した場合を想定した「広域避難」を含む「江東 5 区大規模水害避難等対応方針」を今年の 8 月に発表した。



**(1) 水害発生時の対応について：広域避難に関する考え方**

これまで、本区において、荒川の氾濫により避難が必要になった場合、城東・深川地区からの避難地区は、豊洲地区（枝川・豊洲・東雲・有明）や新木場・若洲などに設定されている。

1 協議会では、大規模水害が発生した場合を想定した「広域避難」を含む「江東 5 区大規模水害避難等対応方針」を発表したが、今後、「城東・深川から臨海部に避難」という方向性は変わっていくのか。区外に避難という場合は現状どこが想定されるのか。

**答弁** 今回協議会で検討した事態認定想定は、長雨による荒川の洪水と伊勢湾台風規模の台風が直撃し高潮が同時に発生することを想定している。今までの南部への避難では対応困難であり、発災前の安全な段階での浸水区域内すべての区民が広域避難することを理想としている。

2 洪水被害などにより、ライフライン施設が被害を受け、広域停電が発生したり、高層マンションの電気系統が水没した場合などには、ライフラインの途絶やエレベーター停止などで、上階避難も安全ではないと考えられるがその際の現状の区の対策は、住民はどうすればよいのか。今後はどう対応しようとしているのか。

**答弁** 今回事態認定した水害には、安全な段階での広域避難が必要であることを区民には認識していただきたい。今後、新たに江東 5 区広域避難推進協議会を立ち上げて、避難先や区民への周知についても検討していく。避難先などは、5 区だけでは対応できないので、東京都とも連携して対応していく予定。

**(2) 水害に関する情報提供について**

1 今後、大規模水害発生時、避難準備情報や避難勧告などを有事にしっかり区民に伝えるためにはさらなる情報提供の充実が必要であるが、区ではどのように今後取り組んでいくのか。

**答弁** 地震同様、防災行政無線、緊急速報メール、こうとう安全安心メール、ツイッター、ケーブルテレビ、レインボータウン FM など様々な災害情報手段を使って、情報伝達を強化していく。

2 江東区や他区の防災アプリは、自区内利用を想定した作りであり、広域避難に対応していないので対応すべき。

**答弁** 現状、他区のエリアでは、避難所が近くにあるが、所在地のアプリがダウンロードされ、表示されない。消防庁が試行ではあるが、全国版のアプリを考案中である。これが、通常利用できると解消できると考える。

3 今後、水害発生時の広域避難を進めていくにあたり、浸水想定区域の見直しや、浸水ハザードマップの改定が必要。新たな発生被害想定の見直しや浸水想定に沿った 5 区共通のハザードマップを作成していく考えはあるか。

**答弁** 江東 5 区大規模水害対策協議会の検討方針として、新たに広域避難を中心に考える、江東 5 区広域避難推進協議会を立ち上げる。区民への周知については、協議会の中で検討する。江東区のハザードマップは今後作成予定である。

鈴木あやこは、区議会では、防災対策特別委員会委員として、地域では災害協力隊員として防災・減災対策のさらなる推進に取り組んでいきます。

10/2 豊洲町会防災訓練にて



江東区議会開催報告・  
次回臨時会・定例会の  
開催予定について

江東区議会平成 28 年第 2 回定例会は、9 月 23 日～10 月 24 日までの会期で開催されました。今回は平成 27 年度の決算審査特別委員会も合わせて開催され、審査の結果決算認定されました。次回の江東区議会第 4 回定例会は、11 月 29 日～12 月 15 日まで開催予定。傍聴やインターネット中継などでぜひご覧いただくと嬉しいです！